

「安心安全・きめ細やか・地域と共に」西川登小学校

～ 官民一体型学校「花まる学園」～

【校訓】 『ただしく やさしく たくましく』

《学校教育目標》

人との関わりを大切にしながら よく遊びよく学ぶ 西っ子

～ Try & Error & Cheer ～



★Try……「まずやってみよう！」「何度でもやってみよう！」

★Error……「失敗から学ぶ！」

★Cheer……「ドンマイ！大丈夫！（応援）」



《重点目標》

1 子どもの安心・安全が保障される学校

～ 「命」が最優先 ～

- (1) 違いを認め合い、互いに高め合う仲間づくり・学級づくり
- (2) 安全教育の充実と安全な環境づくり
- (3) 健康・体力づくりの充実

2 個性に寄り添い、きめ細やかな指導を工夫する学校

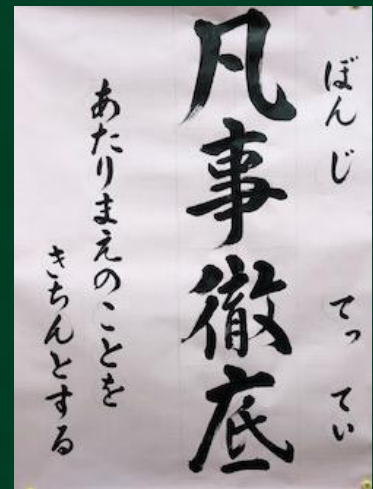
～ 一人ひとりを大切に ～

- (1) 特別支援教育の充実
- (2) 個に応じた授業の充実
- (3) ICT利活用教育の充実

3 地域と共にあり、「主体的・対話的で深い学び」を実現する学校

～ 授業力アップ ～

- (1) 地域学校協働活動の充実
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- (3) 校内研究・職員研修の充実



凡事徹底…すべては、あたりまえのことをあたりまえに行うことから始まる。

《めざす教師像》

- 1 あいさつ・整理整頓・対外的な接遇が正しくできる教師 【人間力】
- 2 情熱をもち、「気づき」「考え」「行動する」など 学び続け、変わり続ける教師【資質向上】
- 3 限られた時間の中で、見通しをもち、計画的に働く教師 【業務改善】

【教師のTry】2

★リーディング DX 事業の研究指定(R7 年度)

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、研究を進めます。「授業」とは教師の視点でみた取組。一方「学習」は子ども主体でみた取組です。授業の充実に向けて教材を研究することは当然のことですが、子どもが学習を充実させるために、学習材を使ってどのように学ぼうとするのかといった「子ども達の学び方」の研究が中心となります。そのためにもICT機器の活用は、重要なカギとなります。

【子ども達のTry】2

★一人になる勇気をもつ

学習の主体者になるためにはまず、自分がやりたいことやがんばりたいことをしっかり持つ(決める)ことが必要です。がんばりたいことがハッキリしたら、次はそれに取組むことです。その時に、自分がやりたいことを達成するために友達や先生(必要な人)に尋ねたり、資料をつかったりしながら、簡単に諦めずに最後までやり遂げようとするのが重要です。そして、やってみてどうであったか自分の学びを振り返る。そして、また次のがんばりたいことを決めていく……。という学び方を身に付けるためにも「一人になる勇気」を持つこと。これは、自分が決めたことは一人ででもやるという決意と言ってもよいでしょう。この思いが自主的な学びを支える力となるのです。

地域の中で育つ西川登の子どもたち～地域と共にある学校～

写真は令和6年度の活動の一部



竹とんぼ作り



かんころ交流会



交通安全教室



花まるタイム



町民運動会



門松作り

武雄市立西川登小学校 〒843-0232 武雄市西川登町大字神六 20584 番地

T E L 0954-28-2006 F A X 0954-28-2101

<https://www.education.saga.jp/hp/nishikawanobori-e/>

E-mail: nishikawanobori-e@education.saga.jp

西っ子は みんなで50名

1年	9名	2年	5名
3年	10名	4年	8名
5年	11名	6年	7名